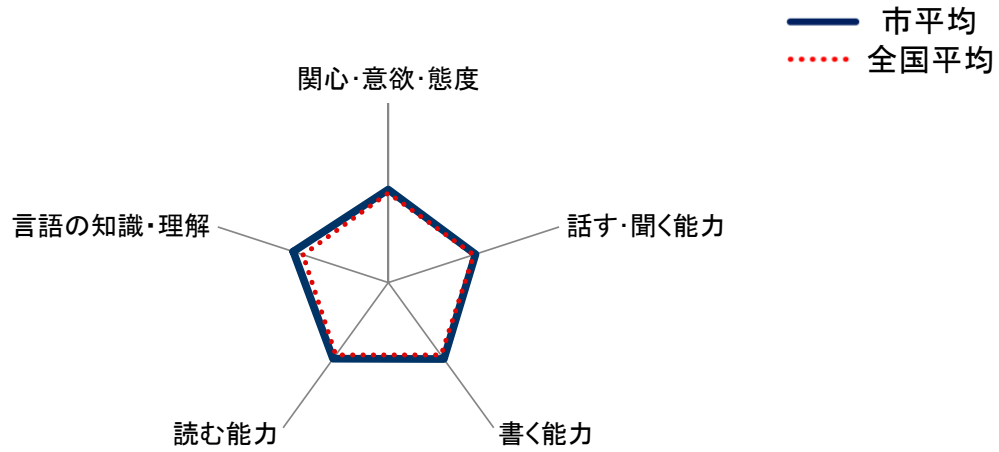


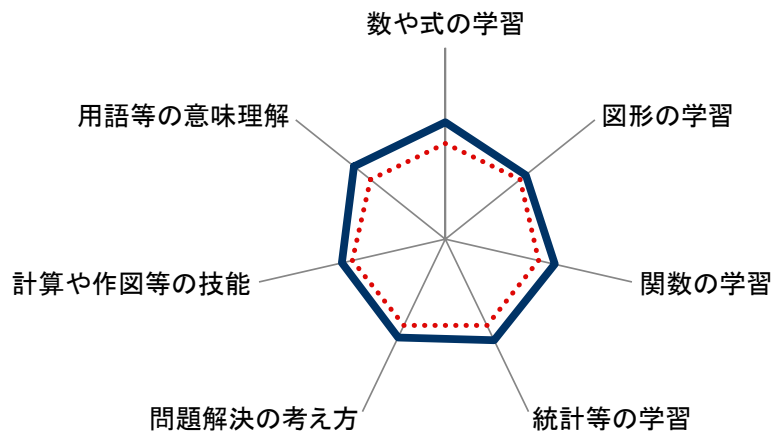
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

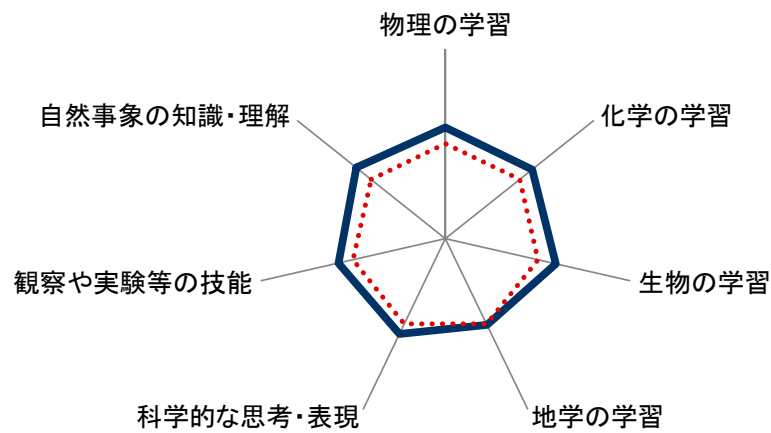
【国語】



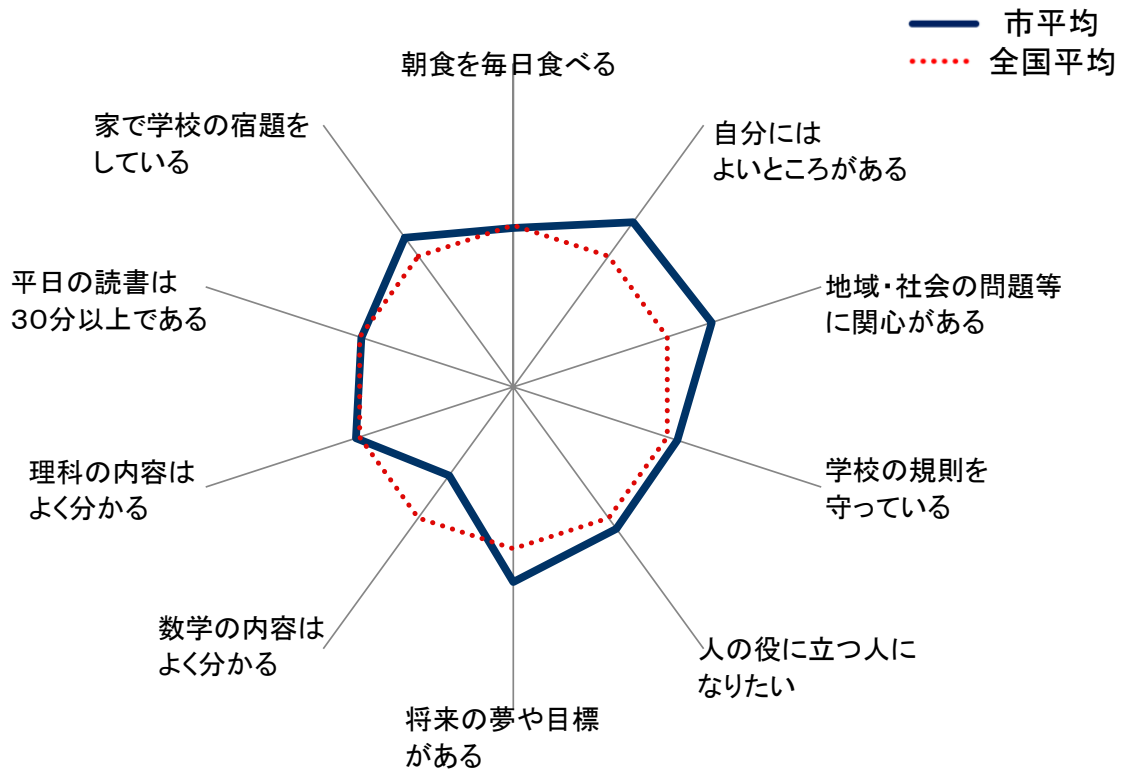
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学、理科の全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、結果は良好である。特に数学は「数や式の学習」や「用語等の意味理解」、理科は「自然事象の知識・理解」の各項目が良好である。引き続き、基礎と活用のバランスの取れた学力の育成を推進するとともに、今後、更なる学力の向上と定着に向けて、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている多くの項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。特に「自分にはよいところがある」や「地域・社会の問題等に関心がある」の各項目は良好であり、自尊感情や地域・社会に関する関心について、例年よい傾向が続いている。平日の読書時間については改善が見られているものの、依然として全国平均を下回っている。読解力向上に向けた指導の充実と関連付けるとともに、朝食の摂取と併せて、基本的な生活習慣確立の改善に向けた指導に力を入れるなど、学校全体での計画的な取組が望まれる。